

科目名		建築計画Ⅰ			
担当教員		木戸 久美子		実務授業の有無	○
対象学科		建築大工科	対象学年	1	開講時期
必修・選択		必修	単位数	1	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		建築物の基本的な設計の考え方、計画の進め方を座学や事例を通して学ぶ。 1. 建築計画に必要な、単位、寸法、生活にもとづいた設計の考え方の重要性を学ぶ。 2. 条件と規制に則した建築計画の進め方の基本を理解する。 3. 講義→評価テスト→解答→解説を繰り返すことで重要性を理解する。			
学習目標（到達目標）		建築物の事例から、平面計画を学び、建築設計に活かせる知識を習得する。また、建築士2級の筆記試験範囲にあたる科目のため、合格点に達する習熟度を目標とする。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①図説 やさしい建築計画（学芸出版社）			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	建築計画の基本知識-1 ①単位と寸法 ・建築で使用される長さ及び面積の単位			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習	
2	建築計画の基本知識-2 ①人体寸法と動作寸法 ・人間工学に基づく人体寸法と動作寸法			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習	
3	建築計画の基本知識-3 ①建築計画の進め方 ・モジュールとモジュラーコーディネーション ・機能計画（ゾーニング・グルーピング）、動線計画、規模計画			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習	
4	評価テスト1～3			項目1～3から抜粋し評価テストで理解度の確認。 解答→解説を行う。 準備学習：項目1～3を教科書、プリントなどで復習	
5	各部および単位空間の計画-1 ①各部の計画：各部の種類・寸法計画について ・扉・窓・屋根の種類、階段・スロープの寸法と勾配			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習	
6	各部および単位空間の計画-2 ①単位空間の計画 ・廊下・便所・浴室、各室の寸法計画			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習	
7	評価テスト5～6			項目5～6から抜粋し評価テストで理解度の確認。 解答→解説を行う。 準備学習：項目5～6を教科書、プリントなどで復習	
8	独立住宅の計画-2 ①独立住宅の平面形式 ・平面形式(プランタイプ)について ②独立住宅の事例			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の予習	
9	独立住宅の計画-3 ①独立住宅の工法 ・住宅の工法に関する用語、各種工法			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習	
10	評価テスト8～9			項目8～9から抜粋し評価テストで理解度の確認。 解答→解説を行う。 準備学習：項目8～9を教科書、プリントなどで復習	
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
取組姿勢	評価テスト				
20 %	80 %	%	%		
成績評価基準は			建築設計に必要な知識として建築基礎知識を理解した上で、設計への見聞を広げる。また定期的にテスト評価テストを行い習得状況の確認する。また、繰り返し行うことで重要なポイントをしっかりと理解させる。習熟度を上げるために、正解率の低い回答については、十分な解説を行う。		
A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		インテリアコーディネーターの業務における歴20年			